

令和 6 年度

「運営に関する計画」

大阪市立中野小学校

令和 6 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○学級活動を 3 年研究し、昨年度より特別活動と枠を広げ、児童会活動・クラブ活動も加えて研究を進めてきたことにより、よりよい学級づくりだけでなくよりよい学校づくりをめざして児童が自ら考え行動する児童を育てている。「自分たちで中野小学校をよりよくしていく」という気風が受け継がれている。また、高学年のリーダーにあこがれをもち、下学年のフォロワーシップも育ってきている。

○学級活動で学んだ話型を基本としてどの学習でも「話す・聞く」ことの態度を育てることに重点を置いて指導し、話しやすい学級集団作りを心がけている。その結果、小グループでは話し合うことはできるようになっているが、全体の場では、進んで自分の意見を表現することが苦手な児童もいるのでハンドサインなどを有効に活用している。

○学力面では、大阪市小学校経年調査年度目標を達成することができなかつたが標準化得点にほぼ近づいている。今年も確実に基礎・基本が定着する手立てと、教員の授業力の向上に向けて取り組んでいく。自主学習についてもいろいろな場面で保護者に伝え、子どもたちの意欲が継続できるよう学校全体で取り組んでいく。また、一人一台端末の活用場面をより増やしていくよう授業改善を行っていく。

○体力面では、男女ともにどの学年も春よりも記録を伸ばすことができ、5 年生も男女とも体力合計点が全国平均を上回った。「スポーツが好き」という回答は、目標を少し下回った。これからも外遊びを推奨し、なわとび・かけ足などを取り組む週間を設けて有効な運動のあり方を模索する。体育科の授業でも準備運動に中野っ子体操を全学年で 1 年間通して取り組み、ラダーや運動量の多い活動を多く取り入れる。また、体の硬い児童が多いのでストレッチも今年度より加えて取り組んでいく。ゲーム領域では、学級活動で学んだことを生かして、チームでの作戦や運動について話し合い、学び合いができるよう引き続き授業改善を進めていく。

学年内で授業交換するなど学級担任だけでなくチームで子どもたちの学びを支え、担当する教科を減らすことで児童との関わりが持てる時間を増やし、働き甲斐のある職場づくりを推進する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向 1 安全・安心な教育の推進

①令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を 90 % 以上にする。

②年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。

③年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

基本的な方向 2 豊かな心の育成

④令和 7 年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 7 年度末に 90 % 以上にする。

⑤令和 7 年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 7 年度末に 77 % 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

⑥全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を令和7年度末に国語・算数とも1.00にする。

⑦令和7年度末の校内調査の「習熟度別少人数授業やグループ別授業は分かりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。

基本的な方向5 健やかな体の育成

⑧全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を令和7年度末に男女とも1.00にする。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向6 教育DXの推進

⑨授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

⑩ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日は、夏季休業で3日以上、夏季休業期間以外の休業期間において1日以上設定する。

基本的な方向8 生涯学習の支援

⑪令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を76%以上にする

基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進

⑫令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、令和3年度より1ポイント増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向1 安全・安心な教育の推進

○令和6年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を85%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

基本的な方向2 豊かな心の育成

○令和6年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和6年度末に90%以上にする。

○令和6年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

○小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

基本的な方向5 健やかな体の育成

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。

○新体力テストの長座体前屈の記録を全学年、年3回実施し前回よりも記録を上回る。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向6 教育DXの推進

○授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

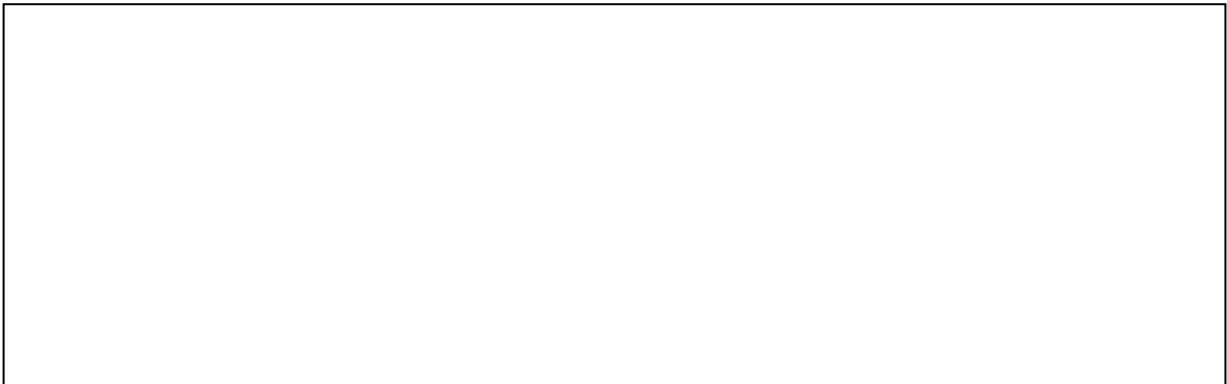
基本的な方向8 生涯学習の支援

○令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を77%以上にする。

基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進

○令和6年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答を82%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括



(様式 2)

大阪市立 中野小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 ・令和6年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和6年度末に90%以上にする。 ・令和6年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和6年度末に78%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向1、安全・安心な教育の推進】 いじめについて考える日やいじめアンケートを活用していじめを許さない雰囲気づくりを進める。</p>	
<p>指標 令和6年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向2、豊かな心の育成】 学級活動を中心に自ら進んで物事に取り組む気持ちを育て自己の役割に対して責任をもって果たしたり、集団のために貢献したりしようとする教育を進めることで自己有用感を育てる。</p>	
<p>指標 令和6年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和6年度末に90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向2、豊かな心の育成】 友だちと協力して成し遂げる体験活動（異学年交流など）の機会を多くもつことによって自信をもち、自分のよさを発揮できる子どもを育てる。</p>	
<p>指標 令和6年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和6年度末の78%より向上させる。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立 中野小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45 %以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77 %以上にする。 ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85 %以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65 %以上にする。 ・新体力テストの長座体前屈を全学年、年 3 回実施し前回よりも記録を上回る。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業の中で、必ずペアトークや小グループでの話し合いの場を設定し、自分の考えをまとめて書いたり、発表ボードを使って発表したりして学びを深めあう。</p>	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45 %以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>実態把握をし、基礎基本の反復練習や発展学習ができるよう自主学習を全学年で取り組み学び方を身に着けさせる。</p>	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>朝の外国語活動の充実・時間の確保、授業の中でコミュニケーションが取れる活動を必ず取り入れ、話すことに慣れさせる。</p>	

指標

小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77 %以上にする。

取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】

観察や実験を通して、生き物や化学に対する興味を持てるように、理科好きな子を育てる。

指標

- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85 %以上にする。

取組内容⑤【基本的な方向4 健やかな体の育成】

体力向上に向けて体育科の授業や外遊びの工夫・改善を行う。

授業の初めにラダーやミニハードル、中野っ子体操を取り入れ、継続して体力づくりを進める。

指標

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65 %以上にする。
- ・新体力テストの長座体前屈を全学年年3回実施し前回よりも記録を上回る。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立 中野小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。 令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を77%以上にする。 令和6年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答82%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX の推進】 デジタル教科書やタブレット等 ICT を授業の中で多く取り入れ、観察したことや調べたこと等をまとめて発表できるようにする。</p> <p>指標 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 年次有給休暇を取得しやすい職場環境づくりに努める。</p> <p>指標 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】 本をいつも読めるようにし、図書館開放や、読み聞かせ、本の紹介、読みたい本のランキングなど子どもたちが本に興味が持てるような活動を工夫する。</p> <p>指標 令和6年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を77%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進】 学校だより、ホームページ、家庭学習チェックシートなどを活用して学校の教育活動を分かりやすく伝えていく。</p>	

指標

- ・令和6年度末の保護者アンケートの「学校は学校だより、ホームページ等で教育活動を分かりやすく伝えている」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を94%以上にする。
- ・令和6年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答を82%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点